

経営比較分析表（令和3年度決算）

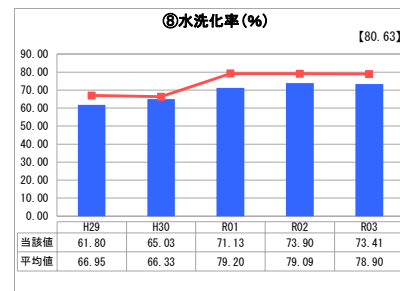
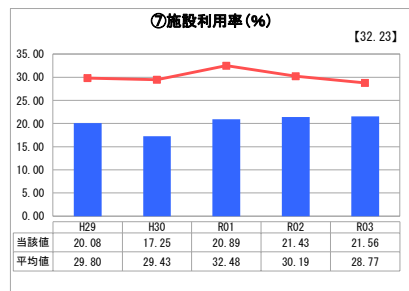
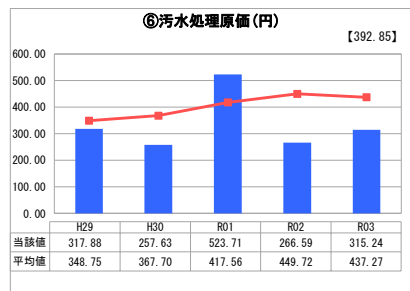
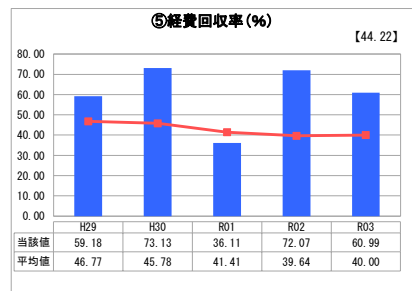
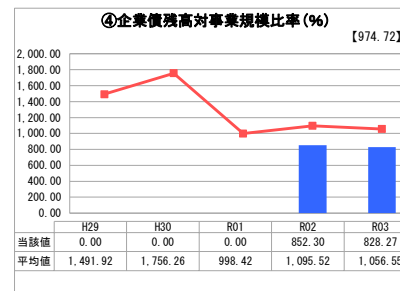
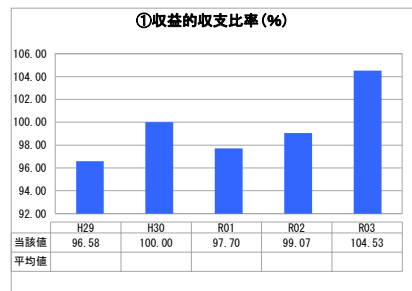
岩手県 陸前高田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.53	96.38	3,410

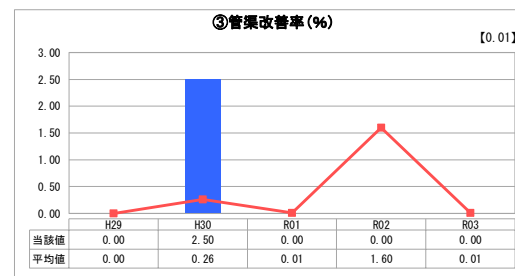
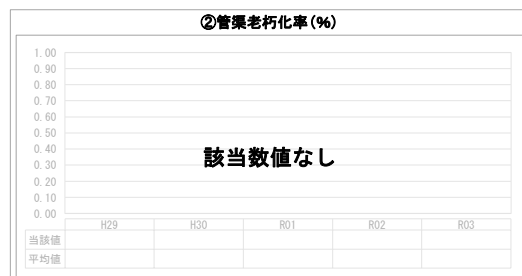
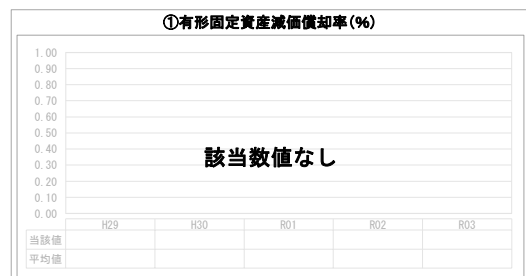
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,338	231.94	79.06
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,004	0.88	1,140.91

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率
使用料収入は前年度から若干減少しているが、一般会計繰入金が増加したことで、総収益が増加したが、維持管理費用の増加が総収益の増加より下回ったため前年度より上昇しており、比率も100%を超えている。
- 企業債残高対事業規模比率
新規の建設事業が無く、新規の借入も抑制しているため、今後も企業債残高は減少しており、類似団体と比較しても企業債残高は少ない状況である。
- 経費回収率
類似団体より高い水準を維持しているが、使用料収入のみでは経費を賅えず、他会計からの繰入金に依存している。
- 汚水処理原価
前年度に比べ有収水量が減少したが、汚水処理費が増加したため前年度と比較し、原価は増加している。
- 施設利用率
晴天時の一日平均処理水量が若干増加したことにより利用率が若干増加しているが、類似団体と比べ大きく下回っている。
- 水洗化率
前年度まで区域内での水洗化率は毎年上昇していたが、区域内の人口減少により若干ではあるが減少した。また、類似団体より数値は低いため、今後も水洗化に係る啓発活動を行う。

2. 老朽化の状況について

処理場と管渠は、津波被害からの復旧から間もないものが多いが、津波による被災を受けない施設が20年程経過した施設がある。老朽化に伴う更新は、十数年後の見込みだが、更新時期が重なり、多大な予算や財源が必要とならないよう、更新時期を適切に判断する必要がある。

全体総括

漁業集落排水事業の整備は、津波被害からの復旧を含め一段落したことから、今後は主に維持管理業務を行っていくことになる。今後も継続して安定したサービスを提供し、健全経営を続けていくためには、維持管理費や建設改良費に係る経費の削減はもとより、既存住宅への接続促進等、水洗化率の向上の取り組みを行っていく。
また、地形的に不利な地域での事業であることから、費用対効果を含めた施設管理、又営業形態を検討する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。